



ASADEN-CTI

# 取扱説明書

バージョン 2 . 0 0

© Copyright 2008 Asakusadenken,inc.

## 目次

ASADEN-CTI 製品紹介 .....	2
ご使用上のご注意.....	2
準備作業 —INS 回線 ターミナルアダプター .....	3
準備作業 —アナログ回線 CTI アダプタ — .....	5
インストール .....	7
起動と設定 .....	11
待ち受け操作 .....	15
アンインストール.....	17
トラブルシューティング.....	19
<補足> C D - R O M同梱サンプルについて .....	22

## ASADEN-CTI 製品紹介

ASADEN-CTI は、電話の着信を検出し、指定した URL アドレスに電話番号を通知する、CTI ソフトウェアです。

## ご使用上のご注意

ASADEN-CTI をお使いいただくためには、以下の性能を満たしたパソコンが必要です。

OS :	Windows® 2000    Windows® XP    Windows® Vista
メモリ :	2 5 6 MB 以上
インターフェース :	USB 端子 2 個 (CTI 機器との接続用・認証鍵用) 認証鍵は SD メモリカードも可能です。 ご要望の際には、株式会社浅草電研 ( <a href="mailto:sales@asakusadenken.co.jp">sales@asakusadenken.co.jp</a> ) まで、お問い合わせください。

ASADEN-CTI の実行には、認証鍵 (USB メモリ) が必要です。

認証鍵内には、専用の認証ファイルが入っていますので、絶対にフォーマットをしないでください。

認証鍵の物理的な破損や、フォーマットによる認証ファイルの破棄についての保証は致しかねますので、取り扱いには十分ご注意ください。

電話回線は、INS ネット 64 回線 (以下 INS 回線) とアナログ回線の 2 つに対応します。それぞれの対応機器は、以下の通りとします。

INS 回線    ターミナルアダプタ :

NTT   INSメイトV30   Slim  
NTT   INSメイトV70   G-MAX  
NEC   AtermIT   21L

アナログ回線    CTI アダプタ :

エフシステムズ   FS - A01  
日興電機製作所   アロハ PC1

パソコンとアダプタの接続方法については上記機器のマニュアルを参照してください。

NTT   INSメイトV70 G-MAX をご使用になる場合 **<重要>**

- ・INSメイトV70 G-MAX の設定ユーティリティ (イージーアシスタント) をご使用になる場合には、ASADEN-CTI 終了後、INSメイトV70 G-MAX の電源を OFF にしてから実行してください。
- ・USB ポート通信モードは「CDC モード」をお使いください。  
詳細は、INSメイトV70 G-MAX の取扱説明書を参照してください。

Windows® 2000 および Windows® XP では表示されない警告画面表示については、**Vistaのみ** と記載していますので、ご注意ください。

## 準備作業 INS 回線 ターミナルアダプター

パソコンとアダプタを接続し、通信を確認します。

1

「電話とモデムのオプション」を表示し、「モデム」タブをクリック表示します。

OS 別の表示方法は以下の通り

Windows® 2000 の場合

「スタート」 - 「設定」 - 「コントロールパネル」 「電話とモデムのオプション」

Windows® XP の場合

「スタート」 - 「コントロールパネル」 - 「プリンタとその他のハードウェア」 「電話とモデムのオプション」

Windows® Vista の場合

「スタート」 - 「コントロールパネル」 - 「ハードウェアとサウンド」 「電話とモデムのオプション」

2

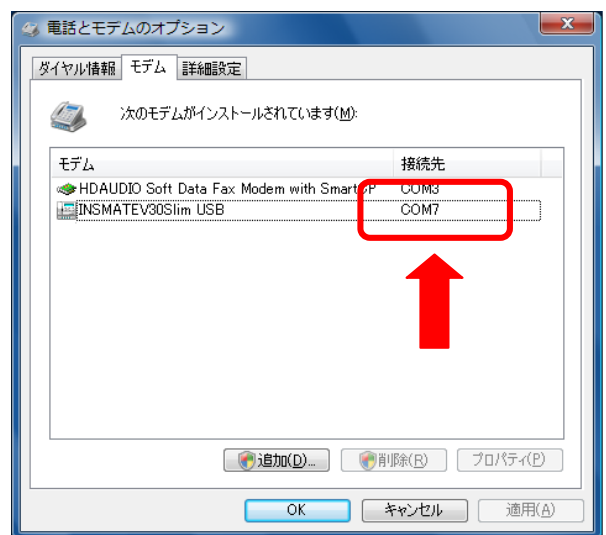
モデム欄のアダプタ名と接続先を確認します。

右の例では

接続機器 INS メイト V30Slim

接続ポート COM7

となっていることが確認できます。

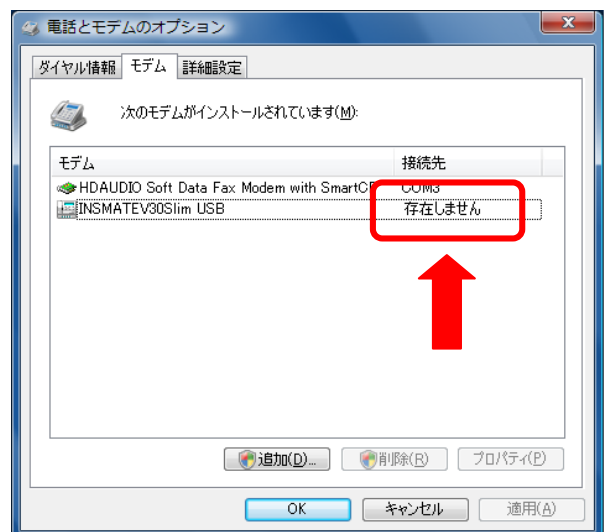


右の例のように

「存在しません」

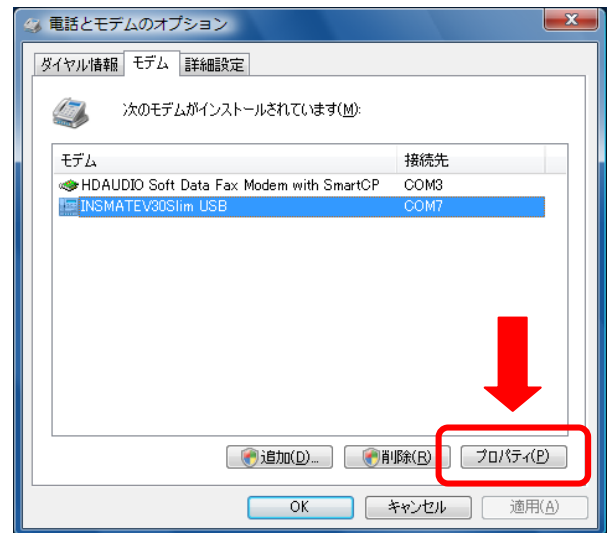
と表示された場合は、アダプタが正しく接続できていません。

USB 接続状態または、アダプタの電源を確認してください。



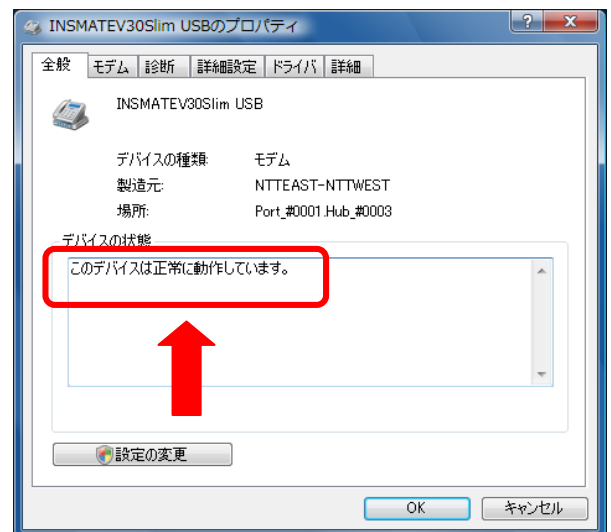
## 4

接続ターミナルアダプタ選択し、「プロパティ」をクリックします。



## 5

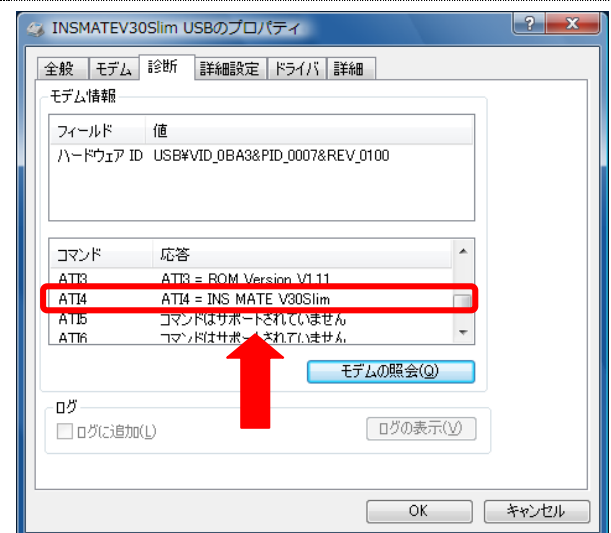
デバイスの状態に  
「このデバイスは正常に動作しています。」  
と表示されていることを確認します。



## 6

診断タブの「モデムの照会」をクリックします。  
コマンド AT+I4 の応答に、ターミナルアダプタの  
機器名称が表示されていることを確認します。

右の例では、  
AT+I4=INS MATE V30Slim  
と表示されています。



## 準備作業 アナログ回線 CTI アダプタ ー

パソコンとアダプタを接続し、通信を確認します。

1

「デバイスマネージャ」を表示し、ポート (COM と LPT) の [ + ] をクリックします。

OS 別表示方法は以下の通り

Windows® 2000・Windows® XP の場合

「スタート」 - 「マイコンピュータ」右クリック 「プロパティ」 - 「ハードウェア」タブ - 「デバイスマネージャ」

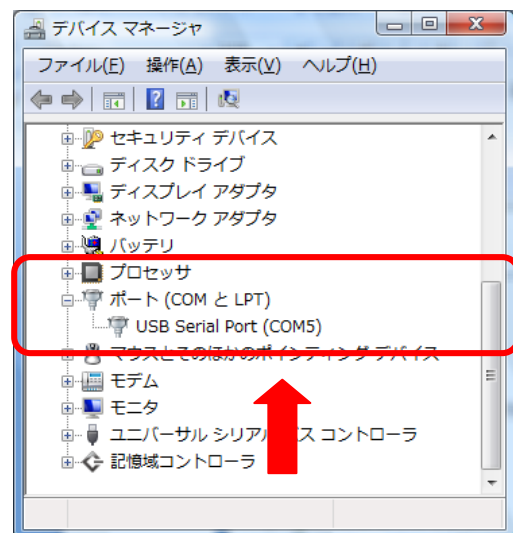
Windows® Vista の場合

「スタート」 - 「コンピュータ」右クリック - 「プロパティ」 「デバイスマネージャ」

2

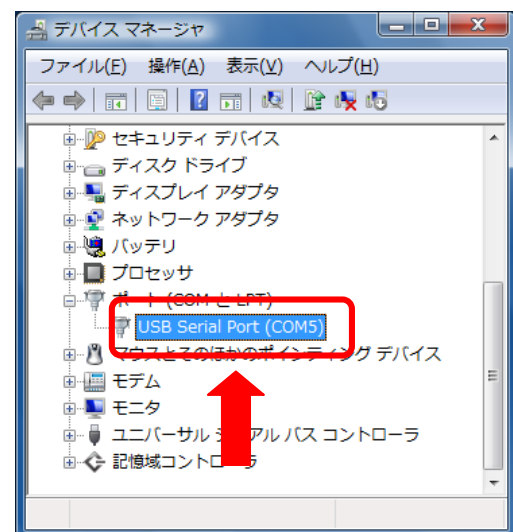
USB Serial Port の右括弧に表示されている内容を確認します。

右の例では、COM 5 に接続されていることが確認できます。



3

USB Serial Port ( COM 5 ) をダブルクリックします。

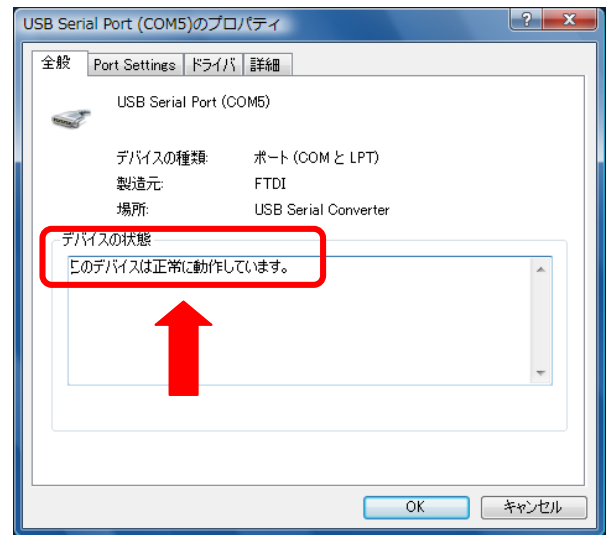


## 5

製造元「FTDI」

デバイスの状態

「このデバイスは正常に動作しています。」  
と表示されていることを確認します。



通信確認方法は、C T I アダプタ の取扱説明書を参照ください。

## インストール

ASADEN - C T I をインストールします。

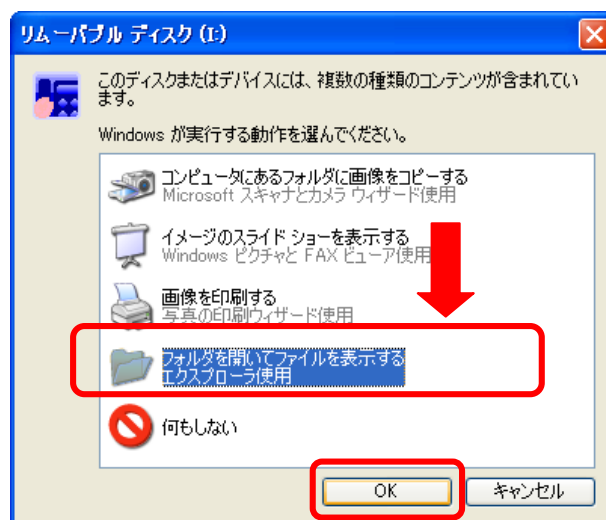
インストールを開始する前に、全てのプログラムを終了してください。

1

USB を挿入します。

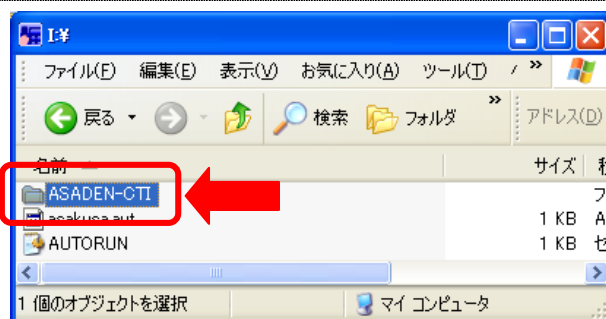
USB メモリを初めてお使いになる場合は、先にドライバがインストールされます。

「フォルダを開いてファイルを表示する」を選択し、「OK」をクリックします。



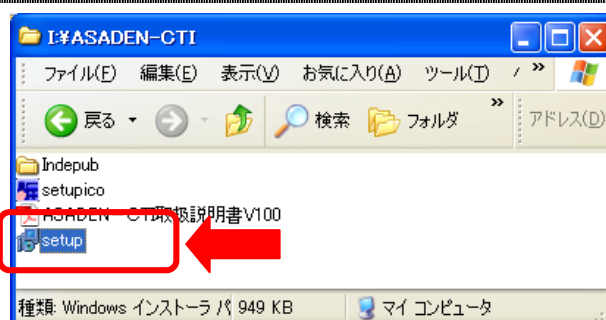
2

「ASADEN - CTI」フォルダをダブルクリックして開きます。



3

Setup をダブルクリックします。

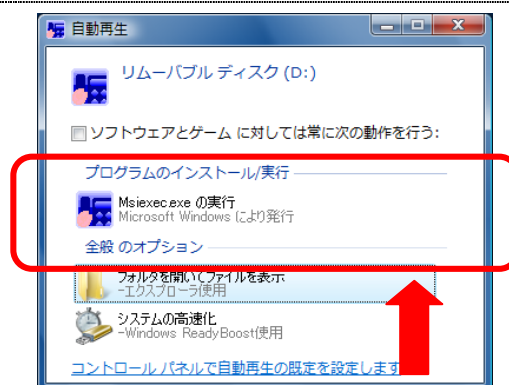


**Vistaのみ**

自動再生の動作確認画面が表示された場合は、

「プログラムのインストール / 実行」をクリックしてください。

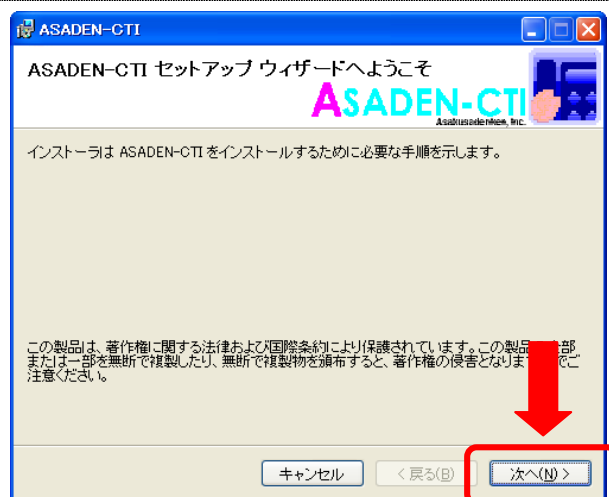
自動再生の画面が表示されるまでに、





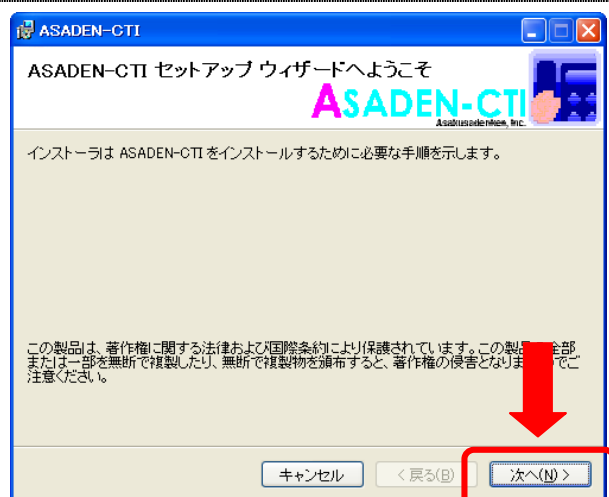
4

セットアップウィザードが起動します。  
「次へ」をクリックします。



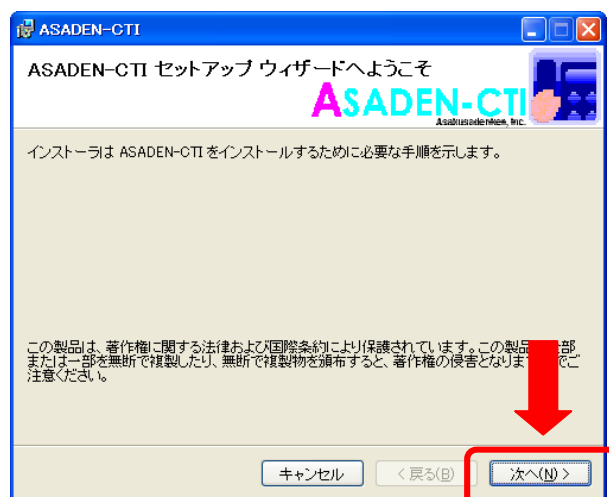
5

セットアップウィザードが起動します。  
「次へ」をクリックします。



6

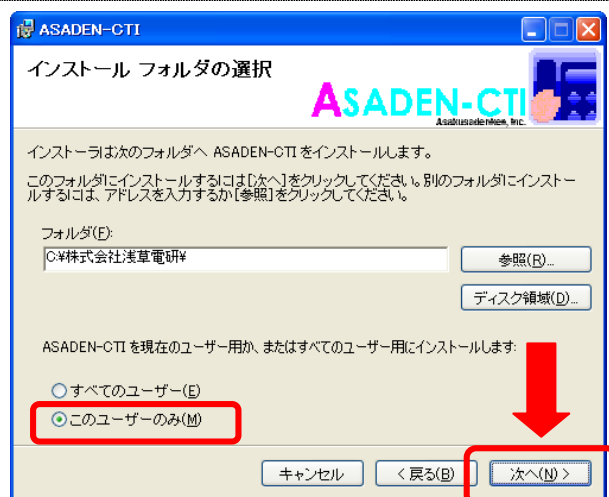
セットアップウィザードが起動します。  
「次へ」をクリックします。



## 7

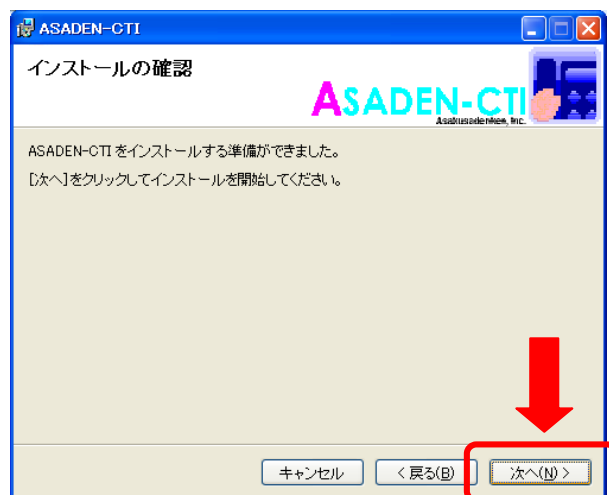
インストールフォルダの選択が表示されます。  
「このユーザのみ」が選択されていることを確認し、「次へ」をクリックします。

注：インストールフォルダは変更しないでください。



## 8

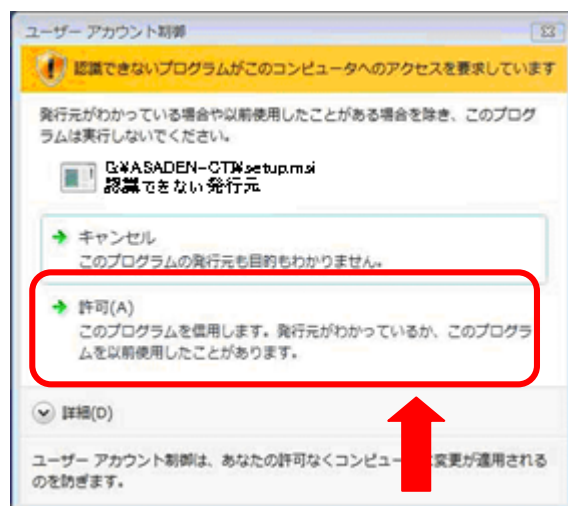
インストールの確認が表示されます。  
「次へ」をクリックします。



## 9

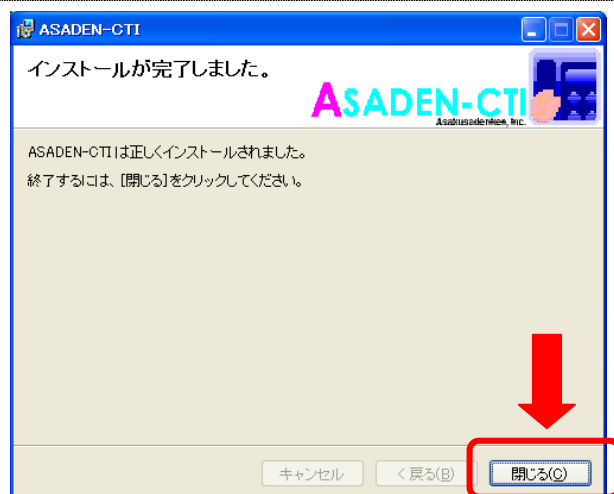
Vistaのみ

確認画面が表示されます。  
「許可」をクリックするとインストールが始まります。



10

完了画面が表示されたら、「閉じる」をクリックします。



## 起動と設定

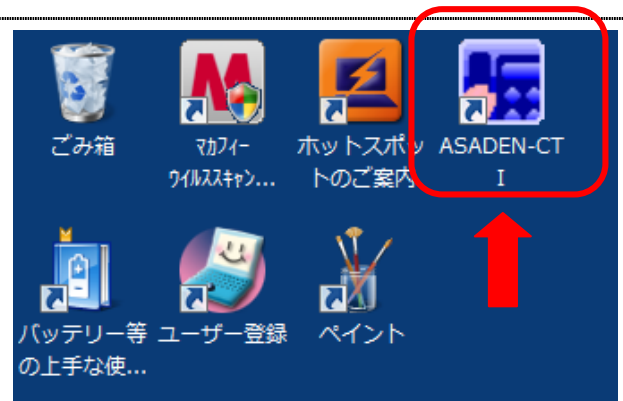
ASADEN - C T I を起動し、アダプタ設定、URL 設定を行います。

INS 回線の場合は、アダプタ設定に続き CTI 設定も行います。

1

デスクトップの「ASADEN-CTI」をダブルクリックします。

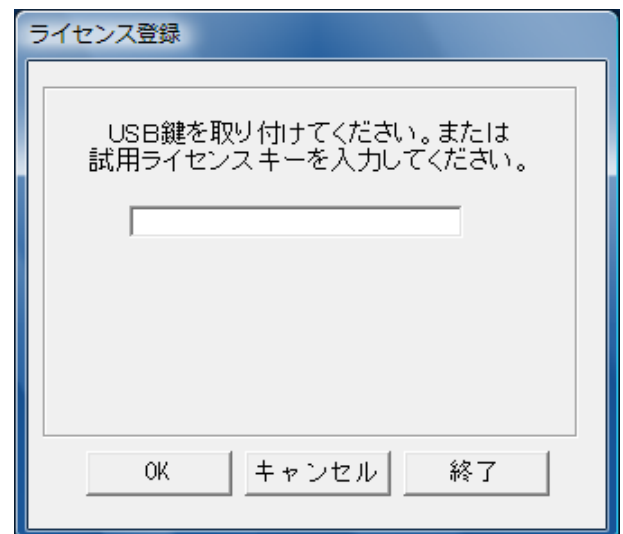
USB 鍵を取り付けている場合は 3 へ



2

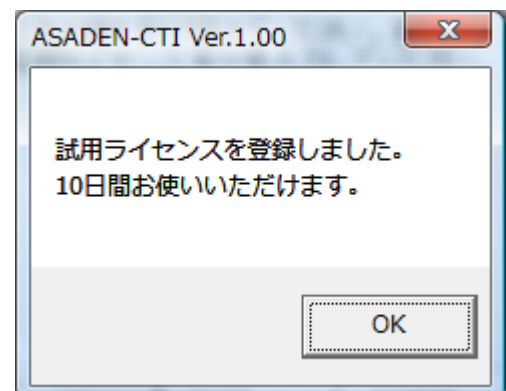
USB 鍵を取り付けるか、試用ライセンスキーを入力し、「OK」をクリックします。

USB 取り付け時に自動再生の画面が表示されますが、×で閉じてください。



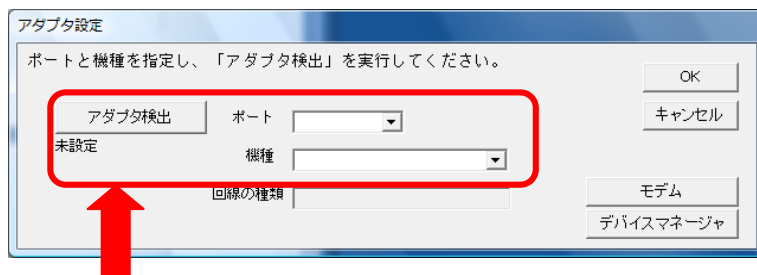
確認メッセージが表示されます。

USB 鍵を取り付けていない場合は、起動するたびに、ライセンス登録画面が表示されます。



### 3

ポートと回線の種類を指定し、「アダプタ検出」をクリックします。

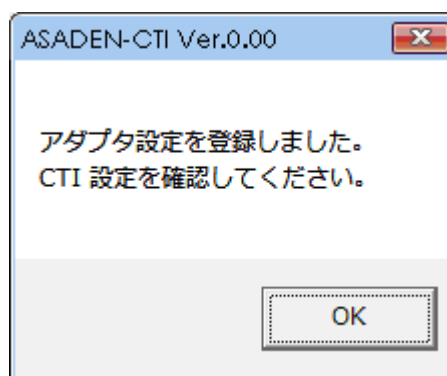
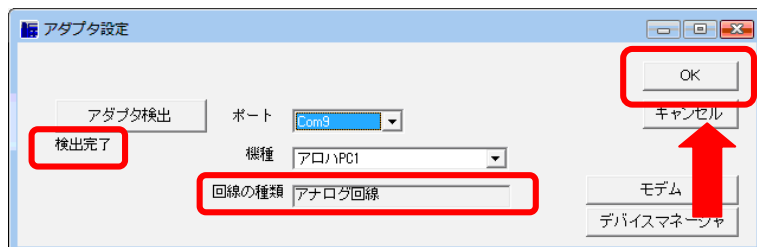


### 4

「アダプタ検出」釦の下に「検出完了」と表示され、回線の種類が表示されるのを確認し、「OK」をクリックします。

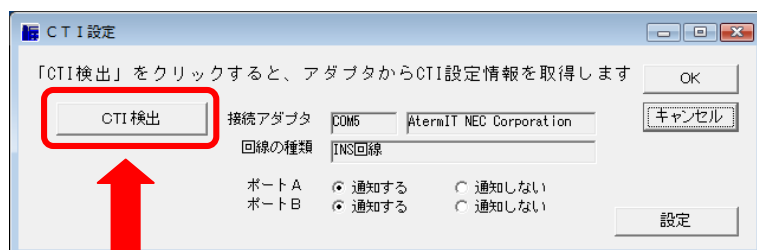
検出できない場合や、「Invalid Port Number」となる場合は、接続ポートを確認してください。

設定ファイルへの書き込みが完了すると、完了メッセージが表示されます。

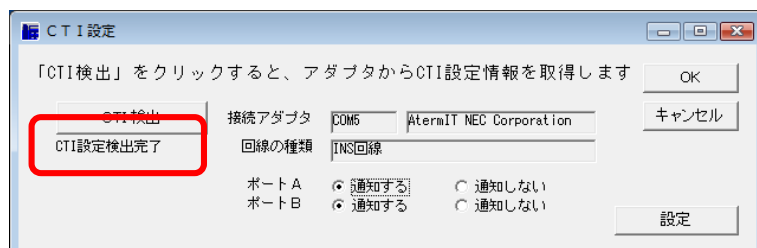


### 5

INS 回線の場合は引き続き CTI 設定が表示されます。「CTI アダプタ検出」をクリックします。



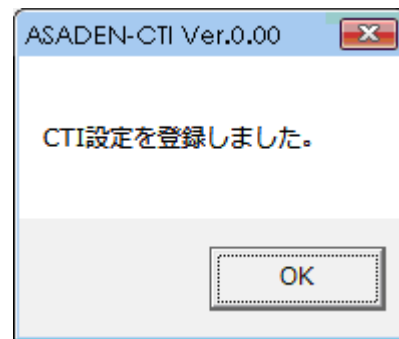
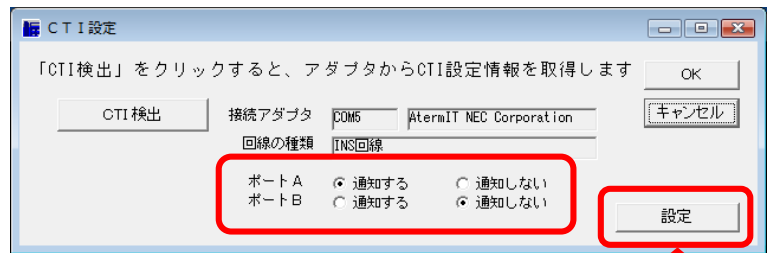
アダプタからの設定データ取得が完了すると、「CTI 検出」釦の下に、「CTI 設定検出完了」と表示されます。



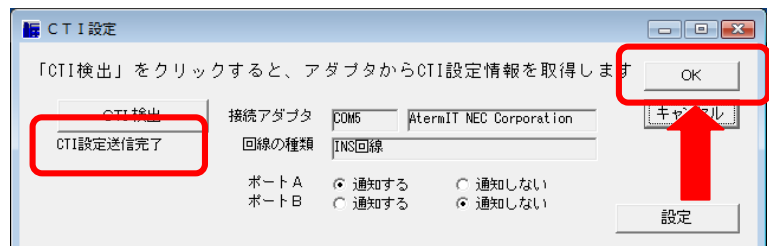
## 6

CTI 設定を変更する場合は、それぞれ、ポート毎にチェックし、「設定」をクリックします。

設定をクリックすると、アダプタへ CTI 設定を送信した後、設定ファイルへ書き込みます。



「CTI 検出」釦の下に、CTI 設定送信完了と表示されるのをかくにんし、「OK」をクリックします。



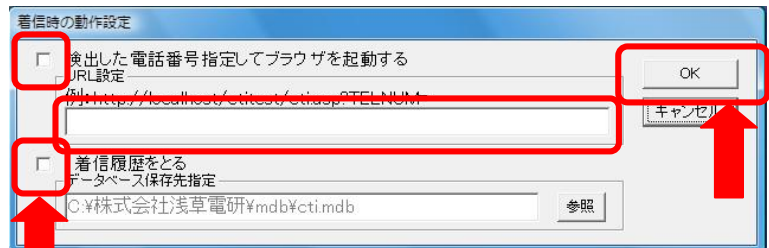
## 7

引き続き「着信時の動作設定」が表示されます。

着信時にブラウザを表示するには、「検出した電話番号指定してブラウザを起動する」をチェック ON にし、アドレスを指定してください。

着信履歴を AccessDB (cti.mdb) に記録する場合は、「着信履歴をとる」をチェック ON にしてください。 AccessDB (cti.mdb) の P A T H を変更するには、参照ボタンをクリックし、指定してください。

設定ファイルへの書き込みが完了すると、確認のメッセージが表示されます。



cti.mdb の構造 データの登録・削除などの管理機能は、本ソフトウェアの機能には含まれておりません。

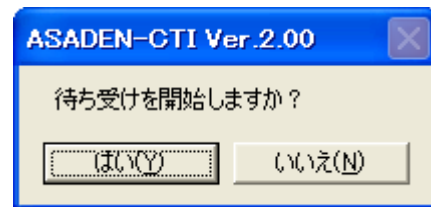
- |                      |                      |
|----------------------|----------------------|
| ・ アドレステーブル (address) | ・ 着信履歴テーブル (history) |
| telnum テキスト型 (20)    | id オートナンバー           |
| name テキスト型 (50)      | telnum テキスト型 (20)    |
|                      | calldate 日付 / 時刻型    |

## 8

開始の確認メッセージが表示されます。

「はい」をクリックすると、待ち受け状態でメイン画面を表示します。

「いいえ」をクリックすると、待ち受け停止状態でメイン画面を表示します。

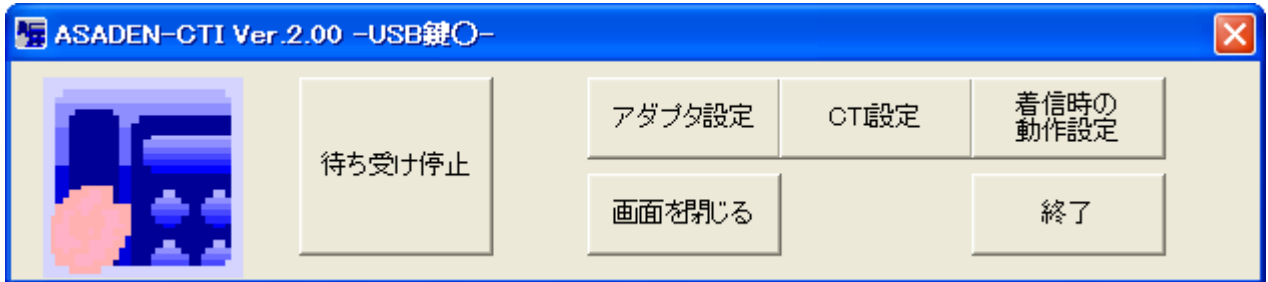


## 待ち受け操作

### メイン画面から操作する

「待ち受けを開始しますか？」のメッセージの後、メイン画面が表示されます。

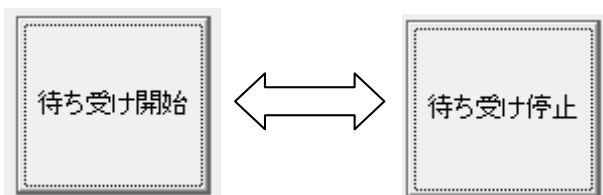
< 待ち受け中画面 >



試用ライセンス入力後 10 日間は、画面タイトル横に「試用期間中」と表示されます。

#### 1 待ち受け開始・停止

「待ち受け開始」と「待ち受け停止」を切り替えます。



待ち受け停止中は、画面タイトルのアイコンが、



のように変化します。

#### 2 アダプタ設定

アダプタ設定画面を開きます。  
待ち受けは停止されます。

#### 3 CTI 設定

CTI 設定画面を開きます。  
待ち受けは停止されます。

#### 4 URL 設定

URL 設定画面を開きます。  
待ち受けは停止されます。

#### 5 画面を閉じる

本画面を閉じ、アイコンがタスクトレイへ収納されます。  
タスクトレイから「設定」を選択すると、再度表示することができます。

#### 6 終了

ASADEN-CTI を終了します。



## タスクトレイから操作する

メイン画面で「画面を閉じる」をクリックすると、アイコンがタスクトレイへ収納されます。

<待ち受け中アイコン>

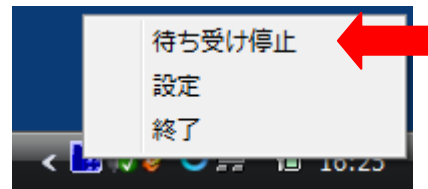


<待ち受け停止中アイコン>



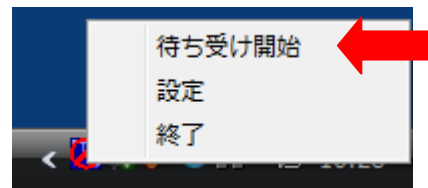
### 1 待ち受けを停止する

タスクトレイのアイコンを右クリックし、「待ち受け停止」をクリックします。



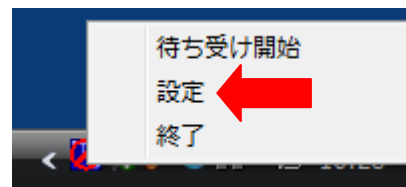
### 2 待ち受けを開始する

タスクトレイのアイコンを右クリックし、「待ち受け開始」をクリックします。



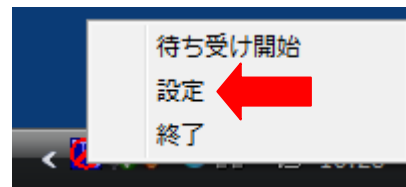
### 3 メイン画面を表示する

タスクトレイのアイコンを右クリックし、「設定」をクリックします。



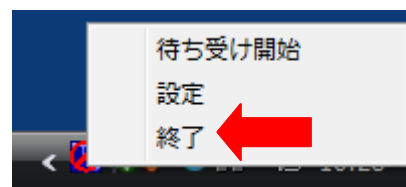
### 4 設定を変更する

タスクトレイのアイコンを右クリックし、「設定」をクリックします。  
メイン画面の各釦をクリックします。



### 5 ASADEN-CTI を終了する

タスクトレイのアイコンを右クリックし、「終了」をクリックします。



## アンインストール

ASADEN - C T I をアンインストールします。

アンインストールを開始する前に、ASADEN-CTI を終了してください。

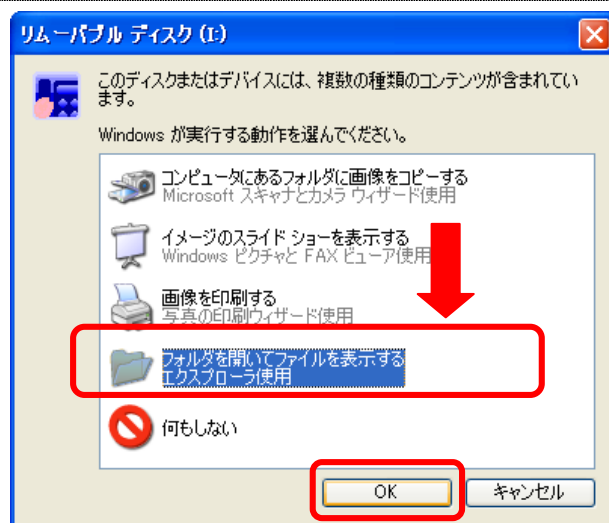
コントロールパネル—プログラムのアンインストール（プログラムの追加と削除）でもアンインストールすることができます。

1

USB を挿入します。

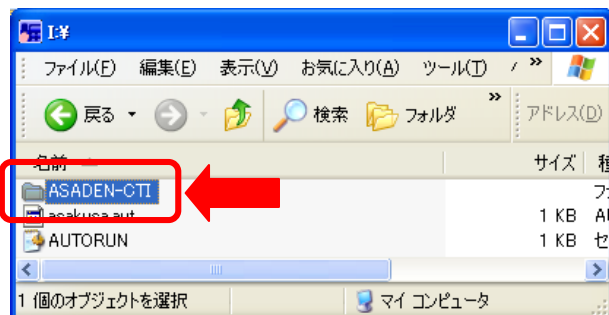
USB メモリを初めてお使いになる場合は、先にドライバがインストールされます。

「フォルダを開いてファイルを表示する」を選択し、「OK」をクリックします。



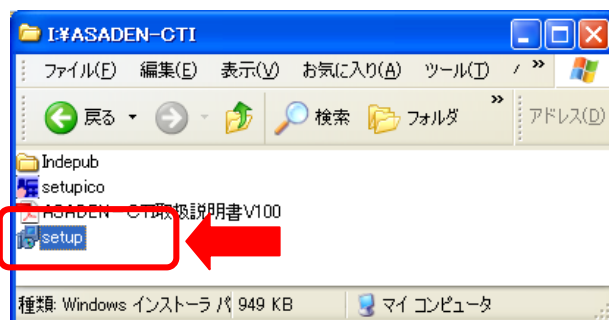
2

「ASADEN - CTI」フォルダをダブルクリックして開きます。



3

Setup をダブルクリックします。

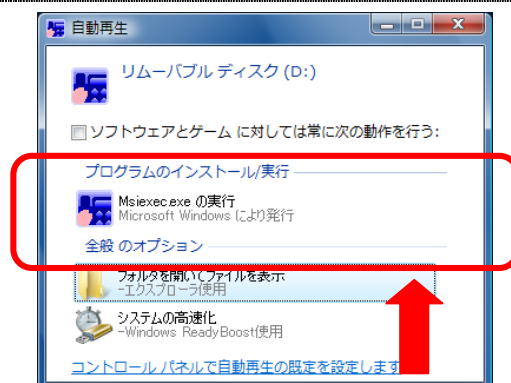


**Vista のみ**

自動再生の動作確認画面が表示された場合は、

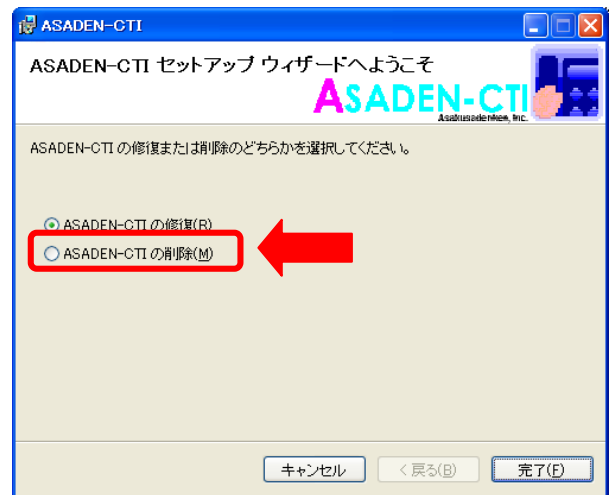
「プログラムのインストール / 実行」をクリックしてください。

自動再生の画面が表示されるまでに、



## 2

ASADEN-CTI の削除を選択し、「完了」をクリックします。

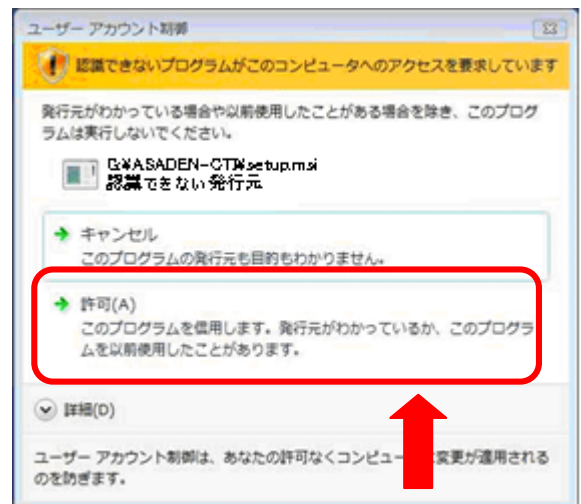


## 3

**Vistaのみ**

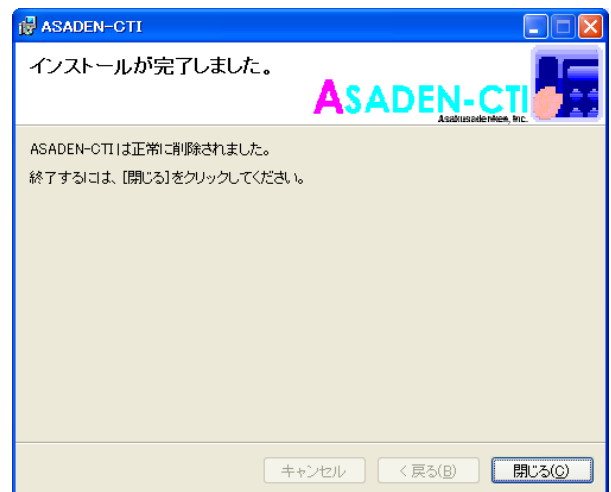
確認画面が表示されます。

「許可」をクリックするとアンインストールが実行されます。



## 4

完了画面が表示されたら、「閉じる」をクリックします。



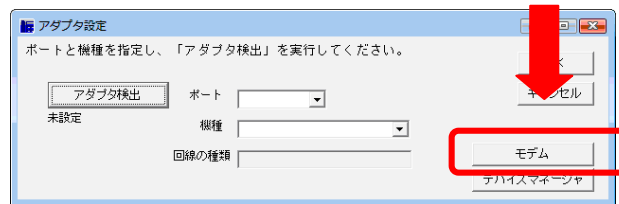
## トラブルシューティング

### 再起動したらアダプタ設定画面が表示された INS 回線の場合

設定ファイルに登録されているアダプタが検出できなかった場合に表示されます。  
ターミナルアダプタの電源や接続を確認します。

1

「モデム」をクリックします。

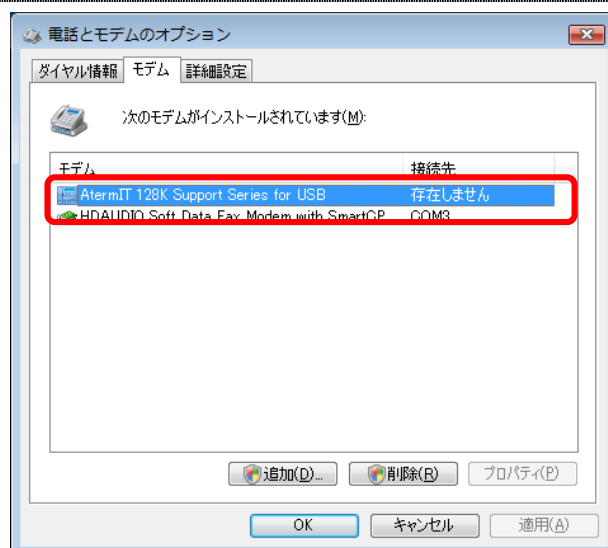


2

モデム一覧が表示されます。

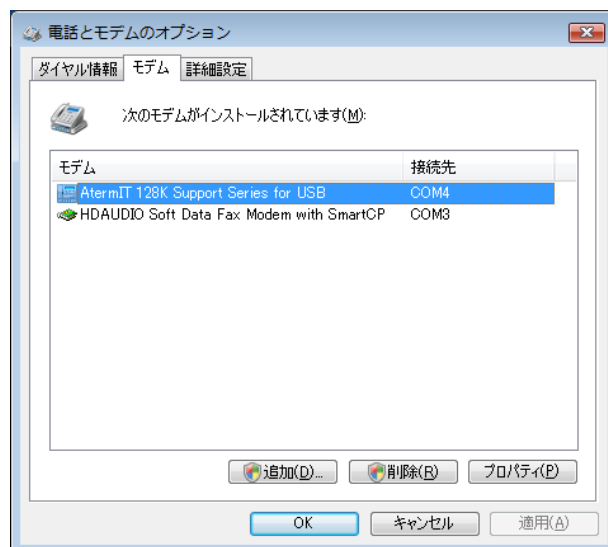
右のように「存在しません」と表示されている場合は、ターミナルアダプタが正しく接続されていないか、電源が入っていない状態です。

ターミナルアダプタを正しく接続します。



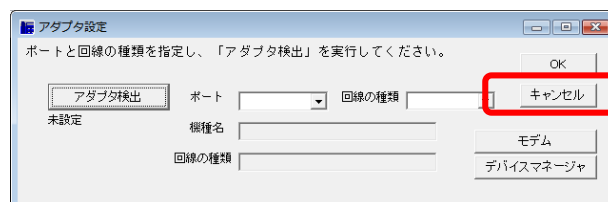
3

モデムの接続先に「COM n」と表示されるのを確認します。



4

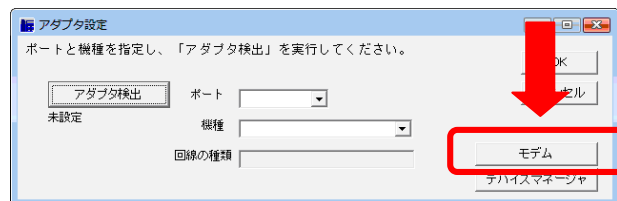
「キャンセル」で終了し、再度、ASADEN - CTI を起動します。  
次もアダプタ設定が開くようであれば、「アダプタ検出」を実行してください。



再起動したら、アダプタ設定画面が表示された アナログ回線の場合  
設定ファイルに登録されているアダプタが検出できなかった場合に表示されます。  
CTI アダプタの接続を確認します。

1

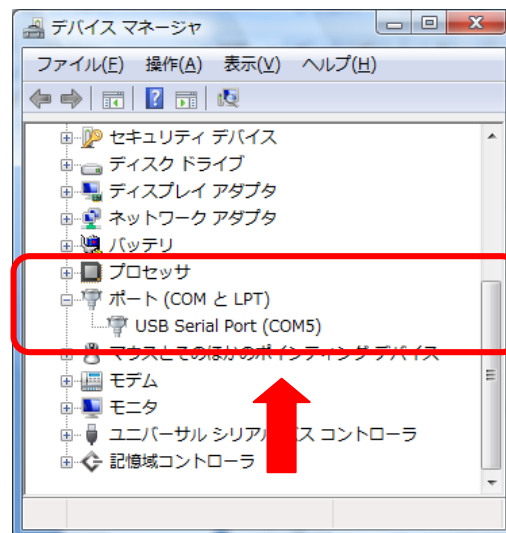
「デバイスマネージャ」をクリックします。



2

「ポート (COM と LPT)」に「USB Serial Port (COM x)」が存在することを確認します。

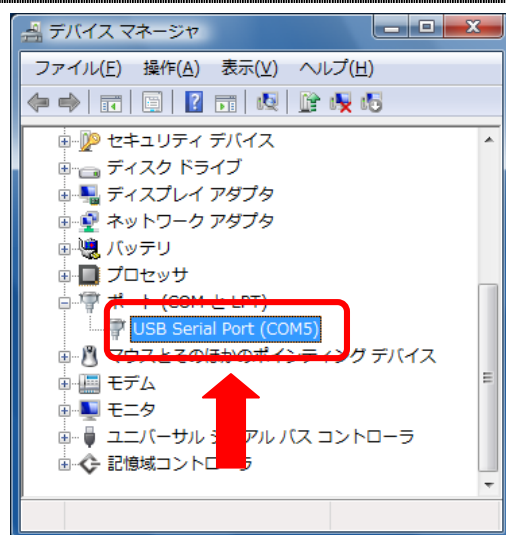
「ポート (COM と LPT)」がない場合は、CTI アダプタが正しく接続されていません。



3

USB Serial Port (COM x) をダブルクリックしてプロパティを表示し、製造元が「FTDI」となっているものを探します。

USB Serial Port (COM x) が複数存在する場合は、順にプロパティを表示します。

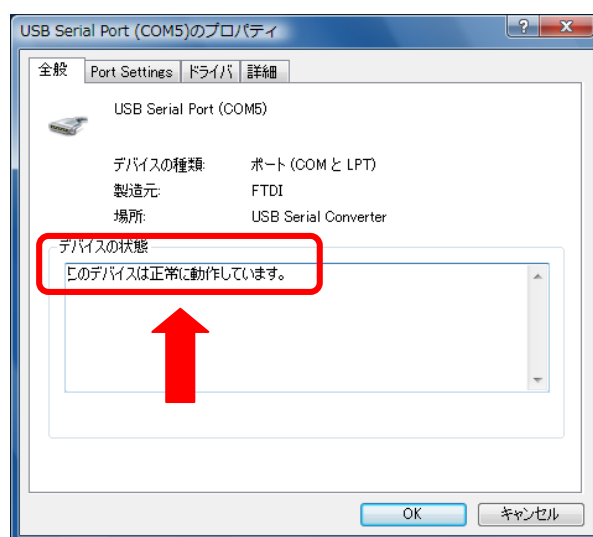


## 4

製造元「FTDI」

デバイスの状態

「このデバイスは正常に動作しています。」  
と表示されていることを確認します。



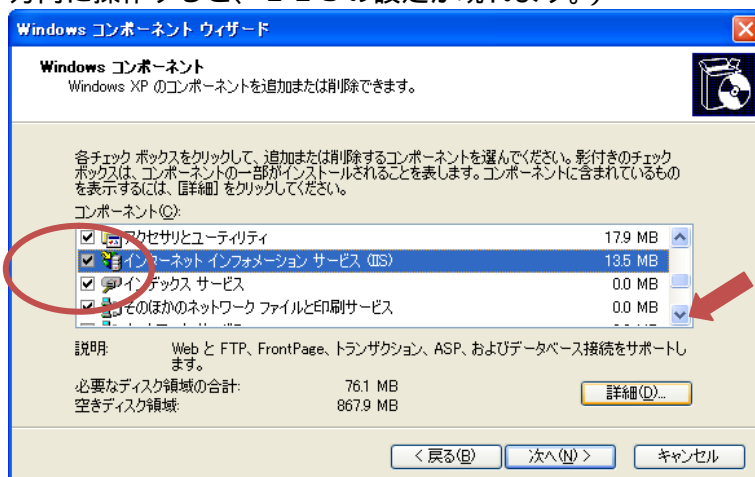
## <補足> C D - R O M同梱サンプルについて IIS のインストールとサンプルのコピー

Apache などのwebサーバが起動している場合は、事前にサービスを停止しておく必要があります。  
コントロールパネル-管理ツール-サービスを開き、該当するサービスを停止してください。  
サンプルは Access データベース (Access2000 以上) と ASP プログラムで構成されています。  
Access は事前にインストールしておく必要があります。  
本章は、WindowsXP での導入例を記載しています。

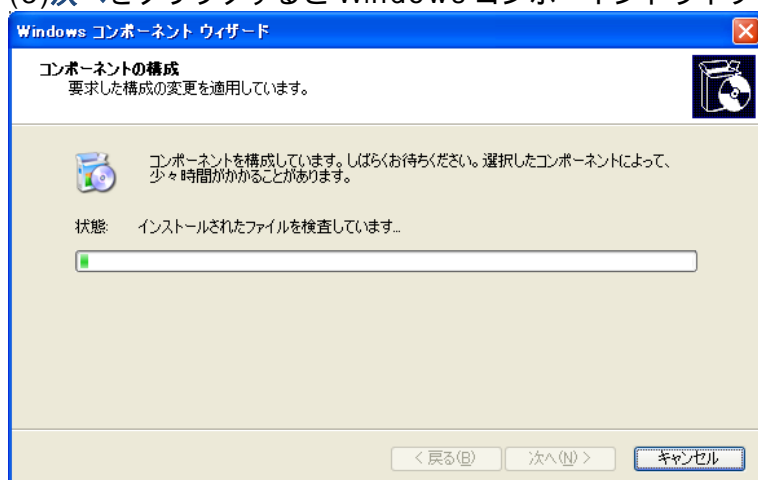
(1)コントロールパネル - プログラムの追加と削除を開き、Windows コンポーネントの追加と削除をクリックします。( Vista では、「windows の機能の有効化または無効化」)



(2)インターネットインフォメーションサービスのチェックをONにします。(スクロールバーを下方向に操作すると、IISの設定が現れます。)

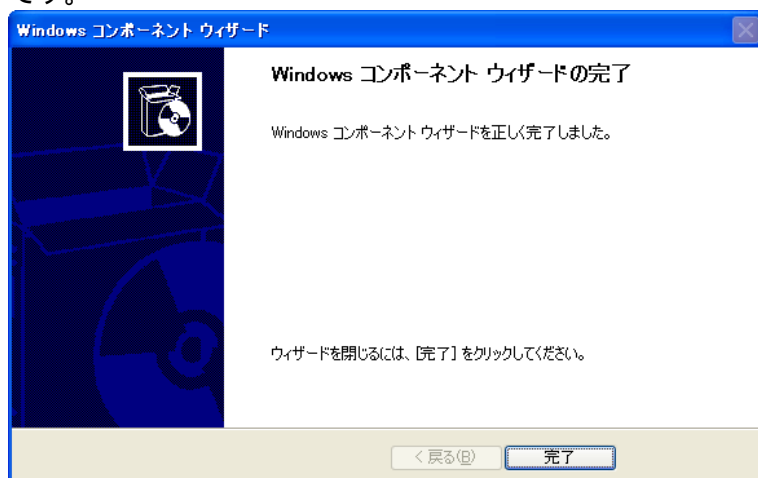


(3)次へをクリックすると Windows コンポーネントウィザードが始まります。



インストールの途中に Windows C D を挿入するように求められることがあります。

(4)Windows コンポーネントウィザードの完了画面が表示されれば、I I S のインストールは完了です。



(5)C ドライブ ( Windows ドライブ ) に、Inetpub フィルダが作成されていることを確認します。

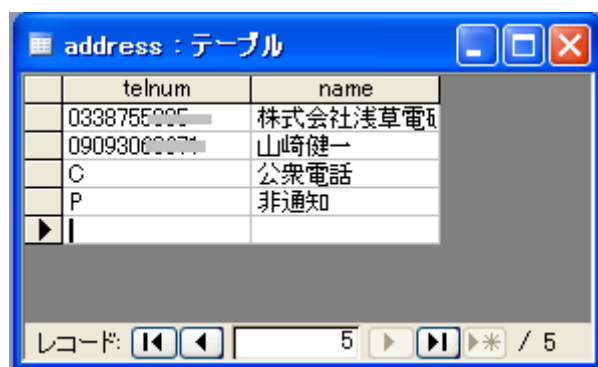
(6)CD-ROM 内 Inetpub フォルダをコピーし、C ドライブに上書きコピーします。

以下のファイルがコピーされます。

C:\inetpub\¥Ctitest¥Cti.mdb	Access データベース
C:\inetpub\¥Ctitest¥Cti.asp	ASP プログラム



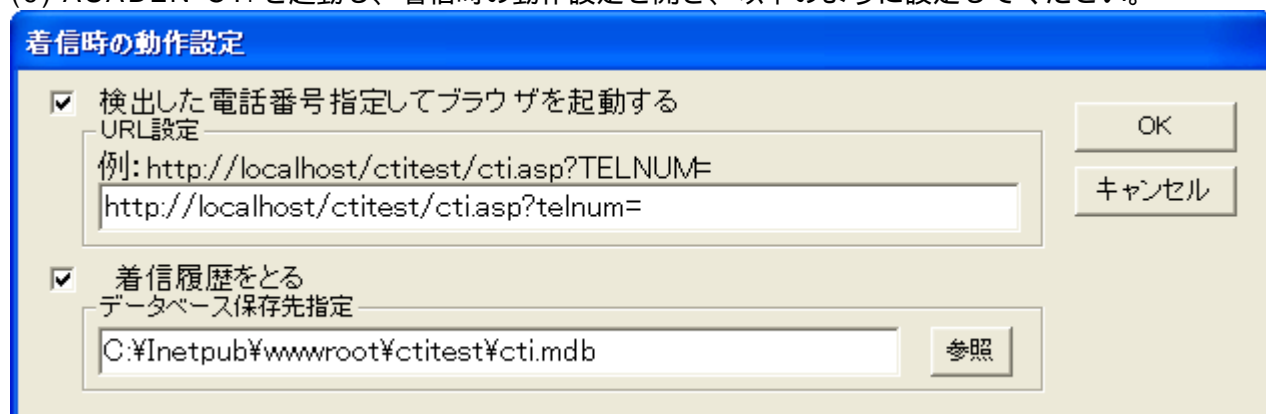
(7) C:\inetpub\¥Ctitest¥Cti.mdb を開き、address テーブルに電話番号と名前を登録します。



telnum	name
0338755005	株式会社浅草電
09093000001	山崎健一
C	公衆電話
P	非通知

(8) C:\inetpub\¥Ctitest¥Cti.mdb を閉じます。

(9) ASADEN-CTI を起動し、着信時の動作設定を開き、以下のように設定してください。



**着信時の動作設定**

☒ 検出した電話番号指定してブラウザを起動する  
URL設定  
例: http://localhost/ctitest/cti.asp?TELNUM=  
http://localhost/ctitest/cti.asp?telnum=

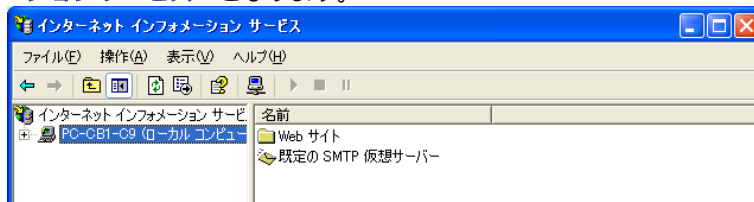
☒ 着信履歴をとる  
データベース保存先指定  
C:\inetpub\wwwroot\ctitest\cti.mdb

OK  
キャンセル  
参照

## IIS の設定

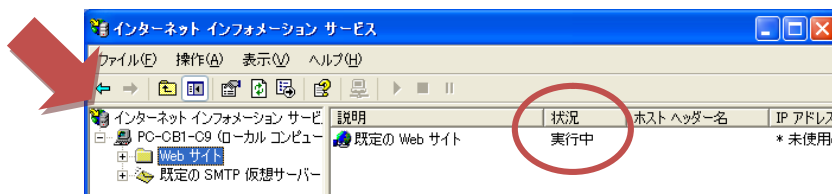
(1)コントロールパネル - 管理ツール - インターネットインフォメーションサービスを開き、Windows コンポーネントの追加と削除をクリックします。

カテゴリ表示のときは、**コントロールパネル - パフォーマンスとメンテナンス - 管理ツール - インターネットインフォメーションサービス** となります。



(2)コンピュータ名の左横の + をクリックし、**web サイト** を選択します。  
Web サイトを選択し「実行中」となっていることを確認します。

### 実行中のとき

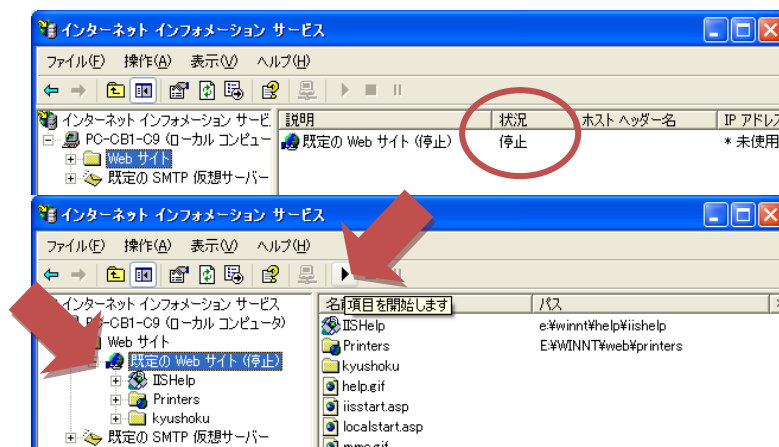


停止の場合は、

・ Web サイト左横の + をクリックし、規定の Web サイトを選択

・ **▶** をクリックします。

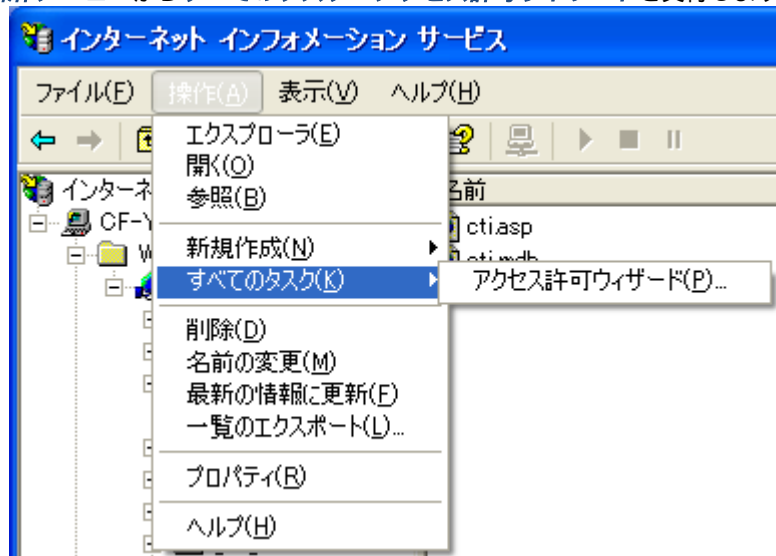
### 停止のとき



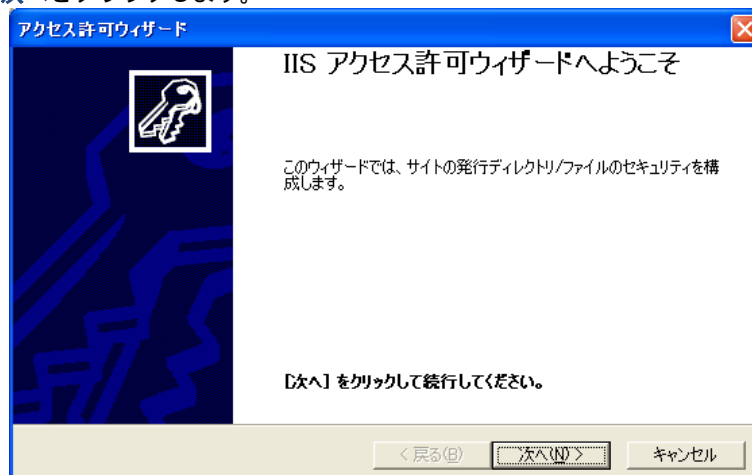
(3) 規定の Web サイト左横の + をクリックし、**ctitest** を選択します。



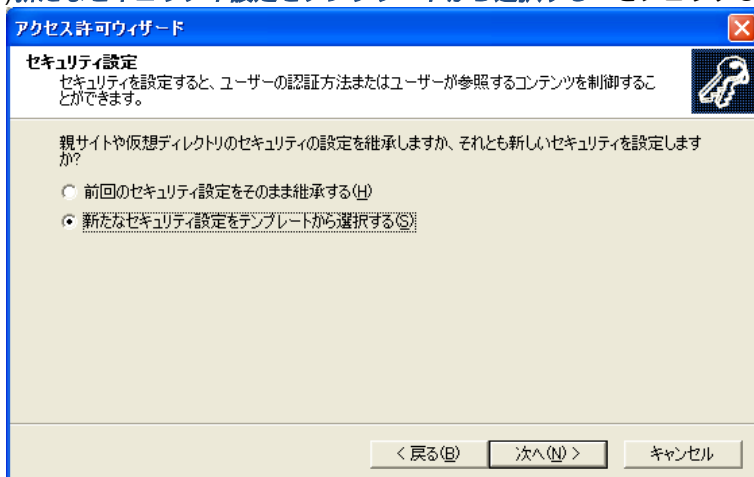
(4) 操作メニューから**すべてのタスク - アクセス許可ウィザード**を実行します。



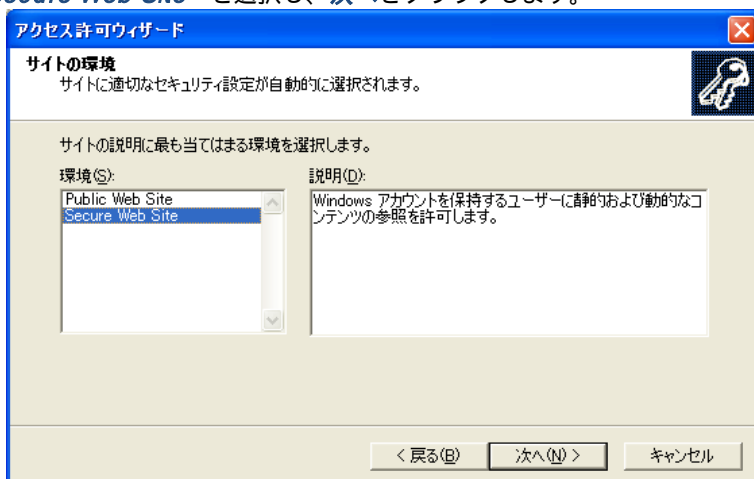
(5) **次へ**をクリックします。



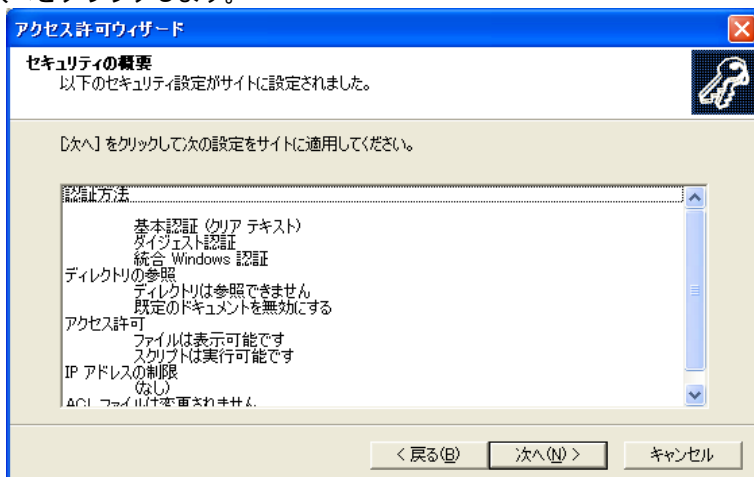
(6) **新たなセキュリティ設定をテンプレートから選択する** をチェックし、**次へ**をクリックします。



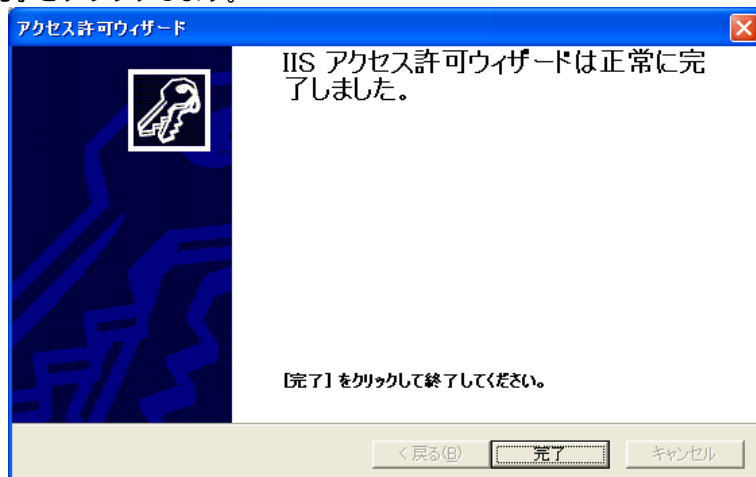
(7) **Secure Web Site** を選択し、**次へ**をクリックします。



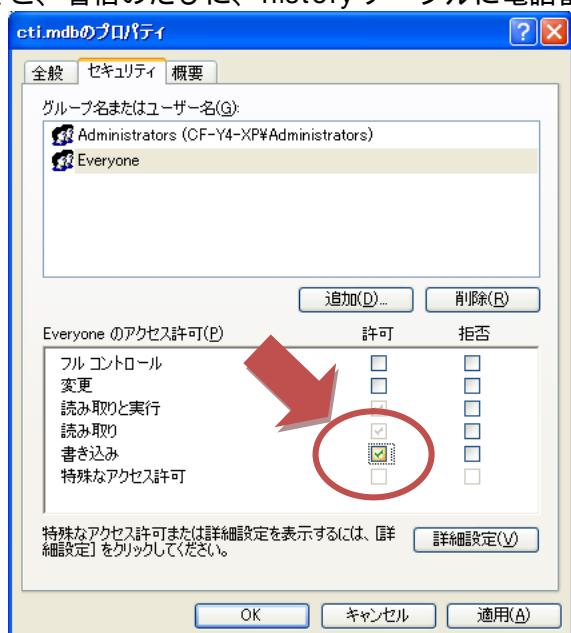
(8) **次へ**をクリックします。



(9)完了をクリックします。



C:\inetpub\¥Ctitest¥Cti.mdb のプロパティを表示し、セキュリティタブより書き込み許可に設定しておく、着信のたびに、history テーブルに電話番号と日時が書き込まれます。



注 セキュリティタブが表示されない場合は、マイコンピュータのツールメニューよりフォルダオプションを開き、「簡易ファイルの共有を使用する（推奨）」のチェックをはずしてください。

